

注 意

こちらの資料は製品ラベルに記載されている
添付文書の内容を抽出し、**Web**掲載用に作成
したものです。

製品名	ボバダイナA
最終改訂年月	2020年4月(SPF1)
貯法	室温保存
承認指令書番号	29動薬第3344号
規制区分	規制区分に該当しない
成分及び分量	100g中 主 剤 ヨウ素混合液 15.18g 主 剤 ヨウ素酸ナトリウム 0.05g 主 剤 ヨウ化ナトリウム57% 0.30g 保湿剤 グリセリン 10.03g
効能又は効果	牛の乳頭の殺菌及び消毒
用法及び用量	原液をコップ等の容器に入れ、毎搾乳直後、乳頭を短時間浸漬する。
使用上の注意	「基本的事項」 1. 守らなければならないこと (一般的注意) ・本剤は外用以外に使用しないこと。 ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。 ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。 (取扱い及び廃棄のための注意) ・腐食性があるため金属製のコップを使用しないこと。 ・よく振り混ぜてから使用すること。 ・乳汁等是有効ヨウ素を消費し本剤の消毒効果を減弱させるので、多量の乳汁等が混入した場合は廃棄し、新たに本剤を容器に入れ使用すること。 ・小児の手の届かないところに保管すること。 ・本剤が飲食物、飼料、被服、小児のおもちゃ等にかからないように注意すること。 ・本剤の保管は密栓して、直射日光、高温及び多湿を避け、寒冷時に凍結しないような場所に保管すること。 ・火気や熱源のそばに保管しないこと。 ・万一凍結した場合は、室温にて温め、使用前によく混和すること。 ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。 ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。 ・本剤を廃棄する際は、大量の水で希釈してから廃棄するなど、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。 2. 使用に際して気を付けること (使用者に対する注意) ・本剤の使用により、使用者に発疹、掻痒感等の過敏性徴候が現れた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診察を受けること。 ・本剤の取扱いにはゴム手袋等を使用し、使用者の皮膚に付着しないように注意すること。 万一、使用者の皮膚に付着した場合は、直ちに流水で洗い流すこと。 ・本剤が眼に入らないように注意すること。万一、使用者の眼に入った場合は、こすらずに直ちに流水で洗眼し、本品を持参して速やかに医師の診察を受けること。 ・本剤を誤飲しないように注意すること。万一、誤飲した場合は、多量の水を飲ませて吐き出させる等適切な処置を行い、直ちに医師の診察を受けること。

	(牛に関する注意) ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。 ・本剤の使用により、発疹等の過敏症状が現れることがあるが、このような症状が現れた場合には使用を中止すること。 ・乳頭に傷、ひび割れ等がある場合は、使用する前に獣医師に相談すること。 ・乳頭が乾燥する前に横臥すると糞、敷き料等の有機物が付着することがあるので、乳頭浸漬後は、乳頭が乾燥するまで牛を立たせておくこと。 ・特に寒冷時に使用する場合は、乳頭が凍傷になる恐れがあるので、乳頭浸漬後1分程度放置したあとで、新しいペーパータオル等で本剤を拭き取るか、または室温にて乳頭を乾燥させること。 (取扱い上の注意) ・本剤を搾乳前の消毒に使用しないこと。 ・本剤は希釈せず原液で使用する。 ・搾乳毎に新しい薬剤を用いること。 ・ディッピングに用いるノンリターンディッパー等の器具は使用する前によく洗浄すること。 ・使用した器具は、よく洗浄すること。
製品情報お問い合わせ先	日本全薬工業株式会社 〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1 フリーダイヤル 0120-452-793 受付時間 9:00-17:00（土日祝日・弊社休業日を除く）
開発元	ウエストアグロ社
製造販売元	日本全薬工業株式会社 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html）にも報告をお願いします。	